

研究課題名	小児における肥満と上部尿路感染症の関連性についての検討
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 小児科 氏名 岡田 麻理
研究期間	倫理委員会承認日 ~ 令和 3年 3月
研究の意義・目的	<p>上部尿路感染症は小児、特に乳幼児において比較的頻度の高い疾患であり、発熱を主訴に受診した乳児の5%は尿路感染症が原因であるといわれている。上部尿路感染症は膀胱尿管逆流（VUR）の合併や腎瘢痕による将来の慢性腎臓病、高血圧の発症などの可能性があり、早期に発見診断することが重要であるが、特異的な症状がなく、診断までに時間を要する場合もある。一方、肥満は世界的に増加傾向にあり、小児におけるもっとも頻度の高い慢性疾患となりつつある。脂肪細胞からは様々なアディポサイトカインが分泌されており、肥大化した脂肪細胞ではこれらのアディポサイトカインの産生調節の破綻が生じ、慢性炎症を引き起こし免疫細胞に影響を与えていると考えられている。それに関連し、肥満は様々な感染症の発症にも関連があると報告されている。しかし、尿路感染症と肥満の関連についてはいまだに議論の余地があり、小児における検討はわずかである。今回我々は、当院での小児入院患者における肥満と上部尿路感染症の関連性について検討し、肥満が上部尿路感染症のリスクファクターとなり得るかどうかを明らかにすることで、尿路感染症の早期診断や合併症予防に寄与できると考えられる。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2013年4月～2018年3月に当院に有熱性疾患のため入院した2歳未満の小児患者の診療録を後方視的に検討する。
①試料・情報の利用目的及び利用方法 (匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用するものの範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称	<p>①臨床情報は匿名化し、管理・解析する。他機関への提供は行わない。 ②患者背景に関する情報としては、年齢・性別・身長・体重・尿路感染症の有無を扱う。また尿路感染症に関する情報としては、膀胱尿管逆流の有無と重症度・腎瘢痕の有無と重症度・入院時の血中白血球値、CRP値を扱う。 ③臨床情報の利用は、研究計画責任者のみとする。 ④情報の管理は研究責任者の岡田（下記参照）が行う。</p>
問合せ先	<p>当研究に自分の資料・情報利用を停止する場合のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 小児科 氏名 岡田 麻理</p> <p>TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525</p>